

沿岸性底魚類の新規加入状況評価

福島県水産資源研究所 資源増殖部

1 部門名

水産業—資源管理—底びき網

2 担当者名

白土遼輝・岩崎高資

3 要旨

沿岸性底魚類の新規加入状況は、その後の資源水準や資源動向に影響を与える重要な指標である。そこで、いわき海域における 2003～2022 年の調査船拓水でのトロール調査結果を整理し、底魚類 6 種の新規加入状況を評価し、資源動向の把握に資することを目的とした。

その結果、新規加入水準は 3 種が低位、2 種が中位と考えられた。

- いわき海域の水深 10～50m において調査船拓水で採集した 6 種について、対象期間、サイズにおける採集個体数を整理し、総曳網面積に除して個体数密度を求めた (表 1)。
- 新規加入水準は、イシガレイ、マガレイ、チダイで低位、ムシガレイ、カナガシラで中位と考えられた。マコガレイは対象サイズの採集個体数が少なく、新規加入水準が判断できないため不明とした。
- イシガレイ及びマガレイの漁獲量、底びき網漁船 CPUE (単位努力量あたり漁獲量、kg/1 時間曳網) は近年、減少傾向で推移しており、資源減少の一因として、新規加入状況の悪化が影響しているものと考えられた。一方、ムシガレイの漁獲量、底びき網漁船 CPUE は増加傾向で推移しており、近年の良好な新規加入状況を反映しているものと考えられた。

表 1 底魚類の採集個体数密度

魚種/調査年	2003～2022							新規加入水準※	個体数密度 (尾/km ²)	
	2003～2017		2018	2019	2020	2021	2022		対象期間	対象サイズ
	最小	最大								
イシガレイ	0	191	0	-	1	-	16	低位	2～12月	TL100mm未満
マガレイ	3	151	0	-	2	-	0	低位	4～翌2月	TL100mm未満
ムシガレイ	0	42	52	-	102	-	38	中位	4～翌2月	TL100mm未満
カナガシラ	8	312	4	-	32	-	125	中位	8～翌6月	TL80mm未満
チダイ	90	2,152	62	-	25	-	165	低位	11～翌9月	TL100mm未満

※ 新規加入水準：2003～2022 年の個体数密度の最大値と最小値の間を 3 等分し、高中低境界を算出して評価

4 成果を得た課題名

—：対象期間中において欠測

- 研究期間 令和 3～7 年度
- 研究課題名 沿岸性底魚類の生態と資源動向の解明

5 主な参考文献・資料

- 調査船データによる主要底魚類の新規加入状況評価、令和 2 年度参考成果